

「M情報」活動企画運営団体
 救う会大阪 NO!民主桜組
 米国に原爆投下謝罪を求める会
 大阪の公教育を考える会
 スパイ防止法の制定を求める会
 外国人参政権に反対する会・関西
 日教組の違法行為を告発する市民の会
 竹島を奪還する会・関西
 靖国神社に眠る御霊に感謝する会

MASUKI INFO. DESK FIGHTING REPORT

「M情報」活動企画運営団体

No. 114
 【発行・編集】
 MASUKI 情報デスク
 増木 直美
 大阪府吹田市古江台2-10-13
 TEL 090-3621-1509
 FAX 06-6835-0974
<http://mid.parfe.jp/>
 mid@jewel.ocn.ne.jp

戦略的嫌中運動

「尖閣は中国にプレゼント」くらいから話さないといけないのでは？



H22-11-11 第五管区海上保安本部(神戸市)前、
「SENGOKU38」氏、海保職員を激励

常日頃より『中国に対しては距離を置く政策』を政府に求めることが最重要。そして一般の人に、経済の身近な話から始め、最終的には日本国軍、核武装の必要性を訴える。M情報 増木重夫

先日、「打倒民主！桜組」松谷祐子副代表の「民主党の政権運営を見ていると血圧は上がり、目の前が真っ暗になる。」
http://mixi.jp/view_diary.pl?id=1600372421&owner_id=13304704
 というご意見に(2頁に掲載)下記のようなコメントを記しました。
 ◎・・・一番のポイントは経済あつての政治か、政治あつての経済か。私の意見は、経済あつての政治。尖閣の周囲に魚もいない。石油も無ければ「尖閣は中国にプレゼント」したらいではないか。」と思います。
 貿易(経済交流)が始まったから関税を決めなけれ(政治)はならないのであつて、貿易が無ければ関税は決める必要がないのです。地方議会に眼を向けば、事故が起きた(車が潰れたという経済的損失)から信号を設置(政治判断)しなければいけないという議論が始まるわけです。活動家は言い放なしの無責任。政治家は発言に責任がある。しかし我々も(政治家ではないが)責任ある(理解してもらつことが可能な)発言をしていかないと、一般の支持は得れない時期が来たとに思います。
 ≪2頁3段目へ≫

民主党の政権運営を見ていると血圧は上がり、目の前が真っ暗になる。打倒民主桜組 副代表 松谷祐子

民主党の政権運営を見ていると血圧は上がり、目の前が真っ暗になる。尖閣事件における対応でも、奈落の底に突き落とされるような絶望感を抱いた国民が多かるう。

経済悪化から立ち上がれない現在の我が国は、国際的地位も下落する一方であり、同盟国である米国との関係も思わしくない状況を突くかのように、支那から一方的な「経済戦争宣戦布告」を受けたのではないかと思う。事実、経済安定という武器を以て、支那は世界を股にかけた排日政策を展開している。尖閣諸島の領有権だって、支那は日夜、ロビー活動に大枚を投じていることだろう。それに比べれば我が国の外交戦略は、何と未熟で単純なのだ、ため息をつくばかりである。

先ごろ北鮮では、金正日の後継者がその三男である正恩にほぼ決定し、世襲三代の独裁体制が続くが、かの国の内政状況は最悪と聞く。父から息子へ権力移譲の最中に不測の事態が起こることを想定し、我が国は国防を固め、対北鮮対策に知恵を絞らねばならないはずである。

また、拉致問題完全解決の道筋もつけねばならないことを考えると、防衛安全保障政策に於いては、あらゆる情報を集め、如何なる事態となっても、国土、国民を守り抜くことができる体制を構築することが喫緊の課題であらう。そんな危急の時に、外交音痴かつ防衛無知である民主党が政権与党であることは、我が国始まって以来の「国家存亡の危機」であることは間違いない。

民主党政権には、国際秩序が変化しつつあることや、それへの対応、日本外交のあり方を熟考している節が、まったく無い。鳩山前政権を踏襲したかのように、曖昧模糊、意味不明なメッセージを国際社会に向けて発信しているのみで、そこには外交戦略が微塵もない。

国内に目を移しても然りである。打ち続く円高に輸出産業は瀕死の状態である。デフレスパイラルによって国民生活は閉塞し、将来に希望が見えない。黙って見ていてだけで経済が成長し続けていた時代とは違い、政府が効果的な経済再建政策を示さない限り、この不況から抜け出す手立てはあるまい。国益よりも党利党略を最優先する政党が政権を握り続けていては、やはり日本は、このまま朽ち果てていくしかないだろう。

日々、以上のようなことを考えていると、体調まで悪くなってしまいがちであるが、このまま諦めてしまうことは、靖国に眠るご英霊に申し訳なく、また、父祖から引き継いだ神州日本を子々孫々に残すためにも、骨身を惜しまず国家再興への運動を続けねばならない。大きな目標を達成するためには、目の前の小さな事をひとつずつ解決しなければならぬ。そのひとつが「打倒民主党」で、常に直近の課題でもある。大儀が伴う大きな目標無しでは、運動は進まない。

しかし大きな目標ばかり掲げていては、理想主義に陥り、却って運動は進まない。運動とは、自分の主義主張を披露するのではなく、一人でも多くの賛同者、協力者を得るために行うものである。

自分の意志は曲げずに持ち続けなければならぬが、それと違つことを言い、やらねばならない時もある。今更ながら、運動とは難しいものである。

《↓1頁最下段落より》

早速松谷副代表からPCの液晶が壊れるような勢いで「尖閣は中国にプレゼントしたらいではないか」とは何たることを言うのか極論にしても限度を越えている。」とお叱りがきた。そこで次のような反論をしました。

極論3連発！ ものはついでに、もうちょっと極論を続けさせてください。

まず、これは「手段」の話し。

「尖閣(領土)を守る。」は結論であり、当たり前の話。

「尖閣を中国にプレゼント」。

Aさん「バカなことを言うな！」

Bさん「いやそれも1つの考え方。中国にプレゼントしたら争いは起こらないよね。」

・・・さすがに今回の中国のやり方には力チンときた国民が圧倒的に多いようで多くの人がAさんを支持するでしょう。しかし、質問の仕方によってはBさん支持の方もかなりいるのが現実だと思えます。

要は尖閣の重要性を一般の人(普通の「サヨク」の人)にいかにかからせるか。そのためにはもうちょっと全体的に経済にウェイトをおいた話をしたほうがいいのではないかと思います。戦争経験者に「安全保障が最も大事」といえば相手はびんと来ます。

しかし平和ボケして日々、より己の贅沢を求める経済活動(生活)に勤しんでる人に「尖閣は国防上重要」などと言って誰が理解できますか。我々が尖閣問題を理解して欲しい人たちは「地球は一つ！国境が消えれば戦争は起きない！」と思っている連中なのです。少なくとも彼らは私(増木)に共鳴してくれる人達ではなく私を危険人物とさえ思っている連中です。大病の経験のない人に健康の重要性を訴えるようなものです。

「・・・尖閣周辺は、極東アジアの安全保障や日本のシーラインでもあり・・・」

なぜ、「安全保障」が重要なのか。わが国が二度と戦火にまみえてはいけないから。大東亜戦争の発端は、どちらが正しいかは別にして(「米国が悪い」と事実を話しても「決め付けるな」と言われるでしょう。)米国の日本に対する経済的「いじめ」。シーラインを守るのは明日も皆が車に乗って通勤や買い物に行くことができるため。すべて「経済」が直接であれ、間接であれ背景にあります。そのようなことをもって話す必要があると思うのです。精神的なことより米びつの話しをしなればならないことは誠に残念で情けない話です。しかしこれが現実。

今回の尖閣の件ですが、特に今中国相手に感情的に喧嘩をしても、何の得もないと思います。私のケンカの方法は、そのときはすぐに「参った！」と降参します。しかし後日きつちりと江戸の敵は長崎で帳尻は合わせます。

これも極論ですが、例えば今回は臥薪嘗胆で船長をさっさと返して「日中は仲良くすることが一番大事。友愛の海はいつも穏やか！」とでも首相はコメントを出す。そして時を流す。世間は「菅の国賊！」と大騒ぎになるでしょう。そこをグッとガマンしてレアアースは他国から輸入する段取りをつける。また、中国政府に日本人観光客が立ち入ったらいけない場所の一覧表を出させ、それを訪中旅行者に徹底する。それ以前に中国へ旅行に行かない世論をつくる。さらに日本が今回のように船長を逮捕しても、中国がどのような報復手段をとってきても負けないだけの準備(最終的には核武装)をしておく。そしてひたすら中国側が綱にかかる(落とし穴に落ちる)《3頁3段目へ》

救う会大阪活動報告

勝った！

朝鮮総連関連施設固定資産税減免
取り消し行政訴訟 神戸市の巻き

平成21年8月15日、私たちは

「朝鮮総連固定資産税監査請求三都物語」と銘打って、大阪市、神戸市、京都市の今問題にされている、朝鮮総連関連施設の固定資産税減免に、行政訴訟を視野に入れ、3市に対し監査請求を行いました。そして、案の定と言つか、予定通りと言つか全部「却下」。そこで早速徳永信一弁護士に事件を委任し、行政訴訟を提起。そして3市のうち神戸市の判決が出、控訴は無く、11月18日、判決は確定しました。

今回の神戸地裁の判決は次のように判示している。

「……これらの事実によると、市長が本件各減免措置を行うにあたって、別紙不動産が朝鮮総連の活動から離れて、公益的な目的のために、広く地域住民によって使用されている部分があることの基礎となる事実について適切な調査がなされ、客観的な裏付けがあるということはできないし、実態からみても、別紙不動産が朝鮮総連の活動から離れて、公益的な目的のために、広く地域住民によって使用されていると認めることはできない。」

今回訴えた、15施設のうち2件は減免そのものをしていないので除外。「判決」御入用の方はご連絡を。また、「私の町でも訴訟を……是非「救う会大阪」にご相談ください。

「救う会大阪」減免取り消し訴訟のページ
<http://mid.parfe.jp/kannyo/sukuukai/sourenn/top.htm>

平成22年11月18日判決書 同日原簿綴 裁判所書記官
平成21年(行)第09号 固定資産税及び都市計画税減免施設等調査事件
口頭弁論第1回 平成22年8月10日

神戸市長田区第2-1-3
原告 神戸市
被告 朝鮮総連代表人并被告
神戸市長田区第2-1-3
被告 朝鮮総連代表人并被告

1 本件訴訟のうち、神戸市長が平成20年3月6日付けで別紙固定資産目録記載1及び2の固定資産について同総連事務機記載の者に対して行った固定資産税及び都市計画税の減免措置の取消しを要する部分を下す。

2 神戸市長が平成20年3月6日付けで別紙固定資産目録記載3ないし15の固定資産について、同総連事務機記載の者に対して行った固定資産税及び都市計画税の減免措置を取り得ず。

3 訴訟費用は、15分1、その2を原告の負担とし、その余を被告の負担とする。

事案及び理由
第1 請求
神戸市長が平成20年3月6日付けで別紙固定資産目録記載3ないし15の



H22-11-4 神戸地裁前 一度やってみたかった。夜、わざわざ写真を撮りに行きました。

《↓2頁最下段落より》

のを待つ。そしてこの次船長を逮捕したら30年ほど拘留し日本の怖さを骨身に染みてわからせる。今回の菅政権の反省は「問題の処理に毅然としなかった」ことではなく、いつケンカしてもいいような(物心両面で)準備をしておかなかったこと。準備をしてないのだから事が起れば中国の言いなりにならないとしようがない。空意地張って突っ張っても、中国は次から次へと難題を言ってくる。そういう国なのだ。日本の損失が増えるだけ。

これも極論ですが、尖閣問題の不幸際をつつくり、「中国と付き合うのは止めよう！」と常日頃から『戦略的嫌中運動』が大事だと思えます。もちろん目先のことでの運動が重要なのは言うまでもありませんが、何よりも大事なことは日々の「戦略的(?) 国体護持運動」ではないでしょうか。以前にもどこかで話したと思いますが、選挙が終わってから「外国人参政権反対」と騒ぐ。もちろん騒がないとい

けないが「外国人参政権」の運命は前の選挙(民主過半数獲得)で決まってしまうてゐるのです。

我々の運動に一番重要なのは、自己満足ではなく、目先を挙げれば「尖閣は今やバイ、しいては「領土護持の重要性」を理解してもらうことだと思います。そのためにはあくまで自分を中立におき、「我々が正しい」を前面に出すのではなく、立場が逆転しディベートしても勝てるだけの論理性が必要だと思います。「論破」とは「平行線」や「独りよがり」の勝利宣言、集会等で身内相手に一方的に大きな声でアジって拍手喝采を浴びることでありません。相手(サヨク)が「ナルホド」と言っている。相手が認めて初めて論破です。自分なりにいくら筋が通ろうがそんなもの論破でもなんでもなく、単なる自己満足!! サヨクの連中に「領土」の重要性を理解させようと思ったら、「尖閣は中国にプレゼント」くらいから話さないといけないのでは……。

私は生業は学習塾。授業中学生徒に言います。「君が一生スパーに買い物に行かないなら、数学なんかなくていいよ。」と。「数学は論理性思考の訓練をするためにあるのだ」。そんなこと言っても、生徒は誰もついてこれません。

私の尊敬する新風大阪の神戸代表は「選挙に勝つには左翼の票をかき集める」が口癖。まったくその通りで、これまた「極端すぎる」とお叱りを受けそうですが、我々も「憲法9条を守れ!」くらいは言ったほうがいいのかもしれない。常日頃より『中国に対しては距離を置く』ことを政府に求めることが最重要。そして一般の人に、経済の身近な話から始め、最終的に安全保障の重要性を訴えましょう。

土屋敬之陳議今月も吼えも語る

17日発足した菅改造内閣の3閣僚が担当省庁で初めて臨んだ記者会見場に設置された国旗に一礼しなかったことが産経新聞の調べで分かった。

一礼がなかったのは片山善博総務相、鹿野道彦農水相、大畠章宏経済産業相の3人。官邸で行われた閣僚会見では、18閣僚全員が壇上の国旗に一礼して会見に臨んだ。ところが、相前後して担当省庁で開催された記者会見でも国旗に一礼したのは柳田稔法相、前原誠司外相、野田佳彦財務相、高木義明文科相、自見庄三郎郵政改革・金融担当相の5閣僚のみ。3閣僚は会見場に国旗があるにもかかわらず、記者会見をいきなり始めていた。

細川律夫厚労相、馬淵澄夫国交相、松本龍環境相と海江田万里経済財政相の場合は、会見場に国旗の掲揚がなく、岡崎トミ子国家公安委員長（消費者庁、少子化相兼務）と北沢俊美防衛相、玄葉光一郎国家戦略担当相、蓮舫行政刷新・公務員改革担当相は会見自体がなかった。

民主党内には平成11年の国旗国歌法案成立時の議決の際、制定に反対した議員もあり、公立学校の卒業式・入学式での国旗掲揚に反対する日教組系組合員の支持を受けている議員も多い。

以上が、19日付けの産経新聞だ。党大会に国旗は掲揚されていたが、それは「ありばいづくり」本音は、国旗に反対、国歌は認めない。

そもそも、岡崎トミ子大臣などは、ありもしない「従軍慰安婦」（慰安婦は当時の全世界の軍に存在したが、「従軍」などと言う例はないし、証拠もない）を韓国

の反日グループを扇動。日本大使館前で「国旗」を侮辱した「前科」がある。

当時のアジア指導者は日本をどう見ていたか？ この「真実」を知るべきだ。（参考）

そもそも、支持組織に「社会主義革命を使命」とし、北朝鮮を礼讃して来た「日教組」がある政党に「国家儀礼」を求めること自体、無理なことなのだ。菅直人氏が勝利したこと、完全に民主は「革命」政府として「静かなる革命路線」を歩む。

野田大臣や前原大臣などの良識派もいると言っ論もあるが、彼らも日本人。つまりは、全体の中で「異論」は言えない。

言え、私のように「除名」になる。

私は性格として、「除名」などと言うこともないし、「都議会議長」になれなかったことについても、寸分の後悔もない。政治家として、正義を主張することは当然だからだ。しかし、多くの日本人は、「日本的なるもの」を引きずっている。

つまりは、組織に入れば、言うことも言えない。この民主内閣は、確実に「ケレンスキー内閣」の役割を果たす。つまり、革命政権への「過渡的」内閣なのだ。円高にも具体的政策もない。

ソウル政権の漁民が、領海内で「違法に」トロール漁法で「大量」の魚を漁獲することとが、漁民の経済的疲弊を招いていることは明白であるにもかかわらず、それに「抗議」すらしないで、今度は「漁民手当て」を支給すると言う。

今、都市部の国民が納めている税の内、計算の方法もいろいろあるが、三分の一、地方に使われていると言われている。確かに地方のインフラの整備は必要だから

それが別に悪いとは思わない。

しかし社会主義国ではあるまいし、授業料、医療費を無料。子供手当てをばら撒き、更に農業手当て、加えて、漁業手当て。では、

「原資」はどうするつもりか？ このような無責任な政策を続け行けば、国家は解体する。

国民の不満が増大し、収集がつかなくなる。民主主義は、「権利と義務」が表裏一体と言う、中学でも習うことが忘れ去られた国は、

崩壊と混乱しかない。となると、国民は、「強い指導者」を求める。ある意味、一貫性のある「共産党」等に信頼を寄せるかも知れない。

共産主義の性格、日本共産党の「武装共産党時代」の歴史は、見事に「隠蔽」されているから、一党独裁の、共産党政権になる可能性もある。

「そんなことはない」「革命なんておきないよ」と言う御仁は、ロシア革命を調べて見たらいい。

今、わが国には、共産主義者が、あらゆる所に「細胞」（共産党はこう言っていた）をつくり、警察にも浸透している。「革命は、静かにやってくる」と私が主張する

とおり、無責任な政府とそれを追及しない「どうしようもない」保守・自民党が「覚醒」しない限り、革命は必ずやって来る。その証拠に、民主党が提案準備をすすめて

いる、「人権擁護法案」は、全国二万人の「委員」が、「人権侵害」と決めれば、「令状なし」に拘禁、書類の押収が出来る。

例えば、「拉致の後ろには朝鮮総連がある」と言う。人権委員が「人権侵害」と認めれば、即時、拘禁。

これが、民主主義と「並列」する法案か？ 国旗に敬意を表さない大臣は、外国なら即時、更迭となる。世論が許さない。

「侵略のシンボル」と言う、古典的主張も、論破されている。仮に、日章旗が侵略のシンボルなら、星条旗、ユニオンジャック、三色旗はどうなるのか？

黒人をついこの前まで、数ドルで売買していたことに「謝罪はあったか」？

菅内閣の閣僚の前歴をたどれば、どんな「出身成分」が容易に分かる。前の「今日のつち」に書いたが、詐欺師は、「自分は詐欺師ですよ」なんて風体はしていない。紳士然としている。革命家も同じだ。

カストリ酒を飲んで、浮浪者のような格好をしていると思ったら、見当違い。（そんな輩もいるが）

この国の、2600年の伝統やたおやかな国民性、文化、名譽を守ろうとするなら、この政権と命がけて戦う必要がある。これは、私が何度も演説で触れている通りだ。何しろ、相手は「革命家」であるなら、私は地方議員と言えども、国家の名譽を守る

為生命を賭す覚悟はとつてに出来ている。後は、国民の「蜂起だ」

人がやらなければ、「安倍さんに頼ろう」「石原知事がいる」そんな「受動的」態度で国は守れるか！ 自由民主主義とはそれを構成する国民が自覚を持って行動することを基本とする。

私は都議13年間。ブログに書いたと同じような演説を街頭でして来た。集会では「景気のいいことを」言うが、選挙区では、何も言わない議員があるが、そんな「政治

《次頁4段目に続く》

仲間からの報告

「竹島」奪還一步前進

「県土・竹島を守る会」事務局長
「打倒民主桜組」副代表 梶谷萬里子

本日、自民党の担当者からメールがあり、党として、「領土に関する特命委員会」が設置され、委員長は石破政調会長、委員長代理に新藤議員が就任し、週一回のペースで会合を開き、下條拓大教授にも来ていただくことになりますと報告がありました。

この、自民党の中に「領土に係わる研究会」の設置要望は、私たち、「県土・竹島を守る会」が、いろんなチャネルをつかって、働きかけてきたものです。また、昨日、領土議連からも「頑張りますから」と、電話をいただきました。

尖閣の問題は、竹島問題が下敷きになっています。そのことに自民党は、気がついたのでしょうか。

下條教授の出席が、やっとやって来たと思っています。国会議員は、理論武装して国政、ことに外交問題にあたって欲しいと私たちは、要望し続けてきました。外交はあくまでも他人相手なのです。国内の問題は親子の話し。少々道を間違っても、修復が可能。しかし外国相手ではそうは行きません。

自民党が下野し、時間に余裕ができた。そのことが、重要案件を真剣に取り組むことに寄与している。怪我の功名かもしれません。まずは、一歩踏み出したということでしょう。

尖閣の行方

錦の御旗一座仁和寺宮 曾孫 藤田裕行

私(尖閣諸島)は、一応、彼氏(日本国)と生きていたけど、いきなりシナ君が「俺の彼女だ」って、言い出したの。それで、彼氏(日本国)が、どうするかって、思っていたら、友達の「アメリカ君」に、「ねえ、彼女って、俺の彼女だって、言ってくれよ。」って、何それ? 私としては、一応、「彼氏」と、そう信じていたんだけど・・・

チャイナ君が、「俺の女だ!」って言って、強引に奪おうとしたら、信じられない!! 私、彼氏って、そう実は思っていたのに、「どうぞ」って、譲り渡す!!?? 何、それ? 信じていたのに・・・ なんか、裏切られたって感じ。彼(日本国)って、私の彼氏じゃなかったの? 彼(日本国)って、私を、恫喝されると、唯々諾々と、チャイナ君に、あげちゃうの?? 何、これ? それでも、「彼氏」のつもり?? 信じられない。もう、彼には、不審がつのるばかり・・・ そんな、気持だったんだ。私に對して。彼氏と、そう思っていたのに・・・ もう、信じられない。標題のような、「主権国家」日本君には、なつて欲しくなかったよ。(うるうる。) ねえ、これって、マジなの? きつと、夢だよ。悪夢を見ているだけだね。明日、朝、目覚めたら、「ああ、悪夢を見ていたんだ。夢でよかった。」って、そう言えるんだよね。そうだって、(日本国よ) 言って!!!

さて、冗談はさておき、那覇地検とは、いったい何者? 仙石の愚かなイニシアチブが日本経済を滅ぼしたと認識すべきだ。私は、ほんとうに国家への不信を感じざるを得ない。レアアースの対日輸出禁止などの行為で、日本経済に揺さぶりをかければ、たちまち「主権侵害行為」をした実行犯をも釈放する。

これで、経済人が「国益に叶っている」と思うとしたら、愚の骨頂である。この行為は、チャイナ様がちょっと脅しをかければ、「商人国家」の日本は、すぐさま「いなりになる」と、そう世界に示したようなものだ。このことの「国益」の損失は、計り知れない。日本経済が、シナ(中国)の脅しに、唯々諾々と屈したようなもので、これは日本経済にとつても、多大な損失に他ならない。まるで、由緒ある国家の来歴を、サムライ・ジャパンのプライドを、目先の金の為に、「魂を譲り渡した」ようなものである。傍若無人なこの「主権侵犯」行為に對しては、日本国とその国民は、その「国家のプライド」を死守するためにも断固として、この無法なシナ共産党政府の暴挙に、対峙するべきであった。もはや、私には、今の日本が、「国家」の体を為していない、とそう思わざるを得ない。このような政府に、世界を舞台に展開する日本企業を「守る」力も、気概も、まったく感じることはできない。経済人よ、国民よ、目覚めよ!!! このままでは、国際社会で、日本は、まったくもって、「国家」としての威信を失うことになる。それは、日本企業の価値を棄損し、日本国民の世界における威信をも、著しく貶めているのである。そのことの、「国益の損失」は、経済的にも甚大な被害を、国家と国民に与えてしまった現政権である。

《↑前頁最下段より》

「屋」と同じにされては、「江戸っ子」としてもプライドが許さない。だから、「嘘は言わない」都議会議員でも半分は国政に関することを演説して来たし機関紙も同じだ。「非難があるでしょう」と心配される人もある。しかし、「非難」があっても、なくても「信条」を吐露するのが議員ではないか? 現実に、「非難」など、ほとんどない。

つまり、多くの国民は「政治家に戦って欲しい」「信念は曲げないで欲しい」と思っている証拠だ。先日、広島から、私に会いに来てくれた支持者がいた。毎日のように、ファンレターが届く。ありがたいことだ。ここから感謝をしている。だから余計に、この国を守る決意が強まる。

全国の、憂国の同志諸氏! 共に闘おうではないか! 有名人を頼りにするのは止めよう! 皆さん自身が、「坂本龍馬」なのだ。私も「坂本龍馬」皆さんと、都議会議員なんて身分は関係なく「同志」なのだ。主は一つ! そうすれば、「革命」は阻止出来る。万が一の時、その時は、「美しく散ろう」ではないか。それが日本人と言つものだ。

どんな体制になつても、「生きていければいい」と言つ思想は、心臓停止でも、人工心肺で生きていければいい。最後は、抗生剤の大量投与。カウンターショック。これで、生命の尊厳は守られているか? 絶対に「守られていない」それと同じだ。我々は、去勢された人間ではない。日本人だ! 国体が破壊されて、生きて行くと言つことは、人工心肺でかろうじて生きているのと同じ。異論もあるだろうが、そんな「生き方は」私は、絶対にしたくもないし、「しない」2600年の祖国の歴史を、社会主義者に蹂躪されていいのか。総力を挙げて!

靖国の御霊に感謝する会活動報告

靖国の御霊に感謝し靖国の安寧を誓う旅

平成22年11月27日 鹿児島

12月8日の開戦記念日を前に、「靖国の御霊に感謝の真をささげる会(小川慎太郎代表)」5名は、11月27日、28日、鹿児島へ靖国の御霊に感謝し靖国の安寧を誓う旅に出かけました。

知覧や万世は皆さんよくご存知と思いますが、鹿児島は県全体が特攻基地と言ってもいいくらいたくさんあります。特に鹿屋の周囲にはたくさんあります。今回周ったのは、

- ① 第二国分海軍航空基地「特攻の碑」鹿児島市上床公園内
- ② 特攻機発進之地石碑 陸上自衛隊国分駐屯地前
- ③ 知覧特攻記念館 南九州市知覧(街頭演説会)
- ④ 万世平和記念館 加世田市万世
- ⑤ 指宿海軍航空基地「愛惜の碑」指宿温泉国民休暇村
- ⑥ 鹿児島海軍航空基地「貴様と俺の碑」鹿児島市鴨池緑地公園
- ⑦ 「桜花 別盃之地」鹿屋市野里
- ⑧ 鹿屋特攻隊戦没者慰霊塔 鹿屋市小塚公園
- ⑨ 串良基地跡慰霊塔 鹿屋市平和公園
- ⑩ 鹿屋航空基地「海軍天山艦攻隊」石碑 海上自衛隊 鹿屋航空基地

各慰霊碑の前で「海ゆかば」を斉唱し、御霊に感謝と靖国の安寧を誓ってきました。初めは音程ガタガタでしたが、最後の方はまあまあ！
「特攻の碑」や「特攻機発進之地石碑」に眠る御霊の皆様、ゴメンなさい。次回はきっと満足していただけたと思います。



仲間からのSOS

議会発言は私の命 多賀城市議会 中村善吉議員の闘い

先ず、なにをどう説明しようか。これは宮城県多賀城市議会で起こった出来事、いや事件である。一言で言つと、保守正義の塊、中村善吉議員が、議会で教科書の採択問題を質問した。当たり前の話である。ところがそれを皆寄つてたかつて議事録から抹消してしまったのだ。議運を開き抹消したわけだから、手続きとしては、いや形としては問題ないのかも知れない。しかしそれって、日本国憲法の成立に似てるんじゃないですか。

取りあえず、中村議員のHPをご紹介【多賀城市議会議員 中村善吉 講演会 ↓後援会会報 第20号(補充編)】

前更新HPでは、私の一般質問中の使用語に対して、議運(議会運営委員会)を開催、一般質問の会議録から私の発言個所の全部を削除させられましたので、その削除箇所を補充した原稿を掲載しましたが、その議運での会議録と(憲法、教科書認識等を異にする前議長への公開質問状等を次のように掲載しました。注1

また、我々議員(公務員)活動のベースには憲法遵守があります。憲法遵守なければ、時として(権力の、言葉の、多数決の)暴力になります。その憲法(抜粋)を末尾に掲載したので、ご参考にして下さい。議運会議録は如何でしょうか。

(議員のHPに議運議事録掲載)

経過説明

〔教科書改善への動機〕

歴史教科書改善への動機は、議員になって2年目、歴史教科書の異状さ(後程、戦後日教組主導教育及び教育関係者等の異状(HP活動報告書第18号4ページ参照)さ等も)を知ったことであります。平成8年、ふと立ち寄った本屋で見た月刊誌に「平成9年度採択の歴史教科書」に従軍慰安婦記事が掲載されるのを見たことであります。それ以降、最新の月刊誌や年々新しく出版された参考資料を読み、調べ、教科書改善に関する一般質問を繰り返して現在に至っています。従って、年々、質問内容は同じであります。教育長の答弁内容は変わってしかるべきですが、それがありません

〔他自治体には無い議会内の動き〕

平成13年に扶桑社の歴史教科書が新しく参入する前から、同僚議員による妨害(いやがらせ)を受けたことを覚えております。教科書に関する一般質問を競って、本議会場での議論等であれば許せますが、単なる議員活動の妨害だけであつたので容認できません。その違憲的妨害は平成12年頃から始まり平成19年度、阿部五一議長から酷くなり、歴史教科書採択に際して、当然、菊地昭吾教育長が、調査した現行教科書の内容、特徴の比較結果について質問しても、教科書は国の検定を通過しただけを理由に、教育長の適切答弁はなく、平成20年12月、第4回定例議会では、阿部議長からは、議長が言論の自由無視

(憲法21条違反)してまで、通告文の強制変更、(憲法第31条に準じて)その変更理由の「通告書」の提出を請求しても、「人をばかにするな」の一言でそれを拒否、本会議場では、質問途中でその発言を停止させられ、更に、その「多賀城市議会だより」の原稿では、肝心の箇所を無断でカットされた(同HP・活動報告書第19号参照)。何度か、上位機関に相談したが、議長の議事整理権の乱用としか考えられません。しかし、当時、私は二市三町議員連絡協議会々長の立場であつたので、自分の議会の議長を表沙汰にはできなかった。

〔他自治体には無い最悪な議会内の動き〕更に、本年・平成22年3月第1回定例議会(石橋源一現議長)では、(共産党議員から)私の発言中の用語に批判を發し、議運(議会運営委員会)を開催、一般質問の会議録から私の発言個所の全部を(本人からの発言のかたちで)削除させられた。特に、前議長も積極的?に発言して、今回の議運での全議員発言部削除決定に及んで多賀城市議会史上最悪の極みとなりました。しかし、この8月末には市長選が予定されていたので、平成20年12月と同様、表沙汰にすることを控えたのであります。

〔結論〕

多賀城市議会には言論の自由は、存在せず、法治国家の市議会とは無縁のようであります。近隣の市議会、町議会議員も多賀城市議会の実態を知って、「えっ! そんなことできるの?」とビックリでした。

度重なる教育長の適切答弁なしに対して、議長の適切な指導さえあれば、このような事態にはならなかったと考えます。教育長、議長・両者の責任は重大であると考えます。結局、今回、何が改善され、何が

残ったのか。何も改善されず、多賀城市議会の他自治体には無い議運の歴史が残っただけと考えられます。

今回の議運は、石橋源一現議長及び各議運委員(前議長も含む)の憲法認識や教科書への認識度は不明だが、例の東京裁判より悪質で、毎回繰り返された教育長の「適切答弁なし(できない?)」及び教科書の内容比較等)には触れず、ただ中村発言の削除ありき?の欠席裁判で、補充説明もなし反論もなし、まさに、私自身スポーツ少の指導者、青少年には真似されたくないことでした。

最近教育関係者の新聞沙汰(定年間際の小学校教諭の痴漢事件 (河北新報10月23日、飲酒運転小学校々長の逮捕事件・同新報11月2日))は単なる偶然ではないと考えます。

終わりに、加耶大学客員教授 崔基鎬(チエ・キホ)氏の言葉。

◎道徳の源泉は公德心にあり、公德心は愛国心なしには存在しない。

(愛国心は自国が誇れる歴史教育から生まれる。現行の自国嫌悪、自虐的歴史教科書では不可能です。如何なものか。)

かなり専門的な部分もあり、一般の人には少々何のことが判りにくいと思いますが、とにかく議員のHPを開けてください。特に、議員の先生方、内容が分かりましたら、中村議員にご指導・ご鞭撻をお願いいたします。あまりよくわからない人は(??)、議員の応援を。

議員曰く、多賀城の議会は『赤信号、皆で渡れば怖くない。』だよ!

多賀城市議会議員 中村善吉

多賀城市笠神5-18-30
TEL 0221-367-5685
FAX 0221-367-6808

タイでとんでもない反日放送

M情報 バンコク特派員(?)
ジャンパシー莊子

反日は中国だけでは無いようです。どちらかというと親日的なタイでも……
|||||
本日はどうしてもお知らせしたくメールをしました。

今夕現地時間19時からローカルテレビの3番チャンネルで日本人英霊を侮辱する連続ドラマの放映が始まったのです。今後の展開は不明ですが、初回では以下のようなひどい内容でした。

大東亜戦争時にタイに駐留した日本兵が悪役です。主人公は妊娠中の妻を日本兵に強姦・殺害されたタイ人男性です。冒頭は捕虜であるアメリカ兵を残酷に撃ち殺す日本兵に対しヒーローのように踊りてた主人公が次々悪役日本兵を撃ち殺すというものでした。また日本軍へのスタンスは、タイ人を占領し屈辱的であると出演タイ人に語らせています。

私は早速抗議のメールをテレビ局に対して送りましたが、以下メールアドレスです。
info@thaitv3.com
放映時間は本日から月曜から金曜まで毎日19時から20時まで放映されます。タイトルはタイ語ですが「ブラチャンバン Prachanban」と読みます。

私は現代のタイ人に日本人英霊に対する無用な誤解を生むことから放送の中止をメールしました。

電話番号は +66-2204-3333
日本語は無理かもしれませんが、英語ならおそらく通じるかと。

こういうドラマに対しても小まめに抗議していきまさんと、いつまでも英霊が侮辱され続けます。 H22110129

君はイスカンダルにいけるか？ 宇宙戦艦 ヤマトに乗って

M情報 増木重夫

12月1日、深夜、封切り初日の『宇宙戦艦ヤマト』を観に行ってきました。

ストーリーは皆さんもよくご存知だと思います。正体不明の敵、ガミラスから地球は核攻撃を受けた。そして放射能で汚染され住めない。そこへ宇宙の彼方イスカンダルから「核汚染除去装置」を取りに來いというメッセージが。かつて経験のない彼方。道中何があるかわからない。しかし地球が助かるのはそれしかない。まさに特攻。勇気ある若者が手を挙げた。

「わずかも可能性があるなら行かなければならない。地球を救うにはそれ以外に道はない」古代進(キムタク)達はこの言って出発します。

♪さらば♪ 地球よ♪
旅たつ船はー『宇宙』戦艦♪ ヤマト♪

「地球よ」を「日本よ」に置き換えてください。なぜ先の大戦が起こったのか、なぜ昭和20年4月、呉から『戦艦大和』が出撃したのか。

日本軍は65年前、特攻な作戦を採用しました。それは家族を護るため、恋人をまもるため。そして「国」を護るため。国の運命を背負い。

壮絶な戦いの後、イスカンダルより「核汚染除去装置」を地球に持ち帰る。そして帰投直前、またやガミラスの猛

攻撃を受ける。「核汚染除去装置」を地球へ届けるにはヤマトが犠牲にならない。古代進艦長代理は「核汚染除去装置」と一緒に全員をヤマトから下船させ地球に向かわせる。そして一人、ヤマトを操船しガミラス退治に向かっていく。ラストシーンは草原で、森雪(黒木メイサ)が子供と戯れている。

私はこの映画を観る3日前の11月27日、鹿児島は加世田市の「万世平和記念館」にいた。そして解説員から、「奥さんに子供ができているのも知らず飛び立った青年がいる。奥さんは夫の後を追いついて、自害しようと思った。そして自害しようとしたままにその時、体調の異変に気がついた。そして生きる決心をした。」という話を聞いた。それが映画になっている。

万世で、知覧で見た「写真」や「遺書」、そしてこのときの日本の事情等の解説を古

活動資金の協力をお願い

まずは、平素より私どもの活動に力強いご支援を賜り心から御礼申し上げます。このレポートにもありますように、私どもは「国を破壊しよう」と思っている連中」と日々命がけで戦っています。ところが問題は活動資金。

子供達に誇りある国を残すため今まで以上にがんばります。何卒資金のご協力を伏してお願ひ申し上げます。

※ この、M情報機関紙は新聞の形態をとっています。この「活動の報告書」です。特に「購読料」は設定していません。カンパをよろしく願ひいたします。

○ カンパ金の主な使途は左記団体の活動の企画運営費です。

代進が、森雪が、沖田艦長(山崎勉)が、機関長(西田敏行)が、ヤブ医者(高島礼子)が大変分かりやすくしてくれま。彼らキャストの背景に特攻で出陣した少年兵の顔が、そして『宇宙』戦艦 ヤマトの背景に『戦艦大和』が写り、涙が止まりませんでした。

松本零士氏の強いメッセージを感じました。

是非、子供さん、お孫さんを連れて行ってください。本を読ませたり、知覧へ連れて行き、直接『大東亜戦争の真実、特攻の意義』を教えるのも一つの方法ですが、娯楽映画で間接的に「歴史の真実」教えるのも一つの「手」だと思います。

私は、この映画、それに堪えられる作品だと思いました。

さて、ガミラス退治に、不肖マスク 日もがんばります。

【文援等の口座】

郵便振替 006080824554 MASUKI 情報デスク
三菱東京UFJ銀行千田支店 004326 普通 増木重夫

・活動の広報、資料等の発送費
・道路公園使用申請料等
・活動のための交通費、通信費
・資料、横断幕、ビラ等の制作費
・備品購入費

○ M情報が活動の企画運営を行っている主な団体

- ・救う会大阪
- ・靖国神社に眠る御霊に感謝する会
- ・米国に原爆投下謝罪を求める会
- ・大阪の公教育を考える会
- ・スパイ防止法の制定を求める会
- ・外国人参政権に反対する会・関西
- ・日教組の違法行為を追及する市民の会
- ・NO! 民主「桜組」
- ・竹島を奪還する会・関西